

zoom

OBS link to ZOOM

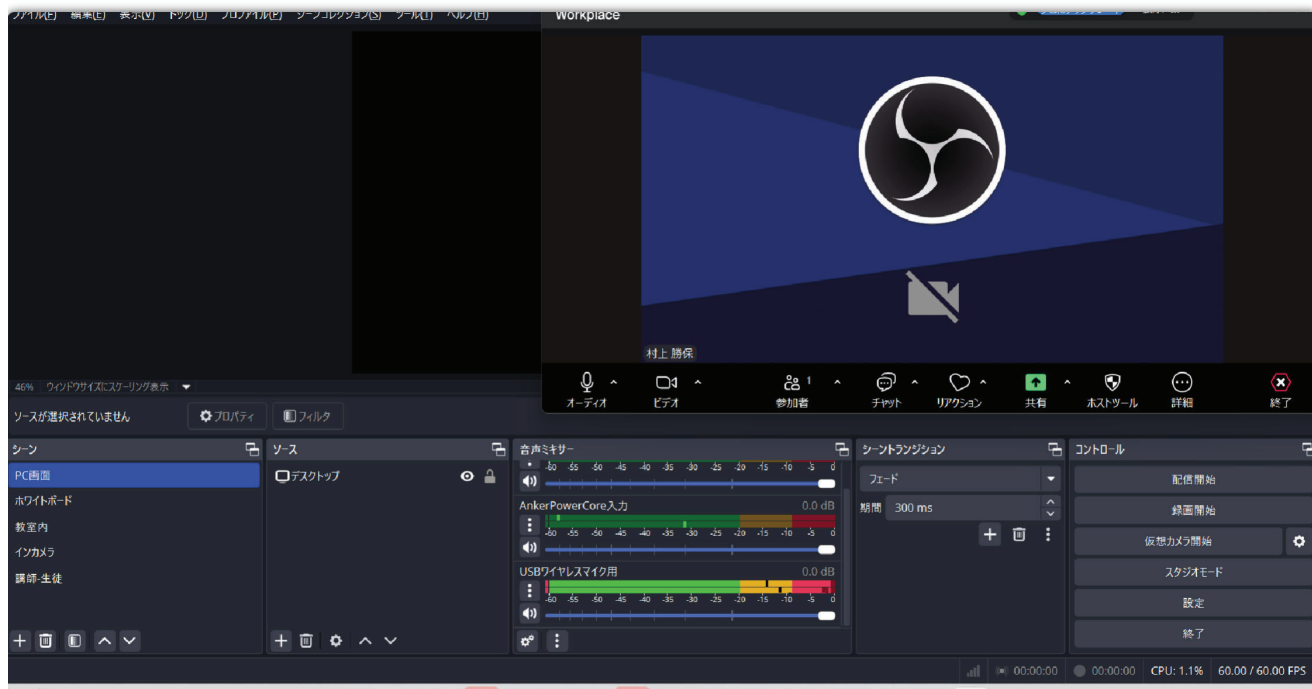
**OBSとZoomを連携
させて配信する方法**

OBS × Zoomでオンライン配信

OBS [↓](#)とZoom [↓](#)を連携させて配信する方法を記載しておきます。

この方法であれば、通常のZoom配信に比べて以下のようなことができます。。

- タイトルや画像を自由に挿入できる
- 瞬時に画面を切り替えられる
- 音声を自由にミックスできる



[目次]

ハードウェアの接続設定

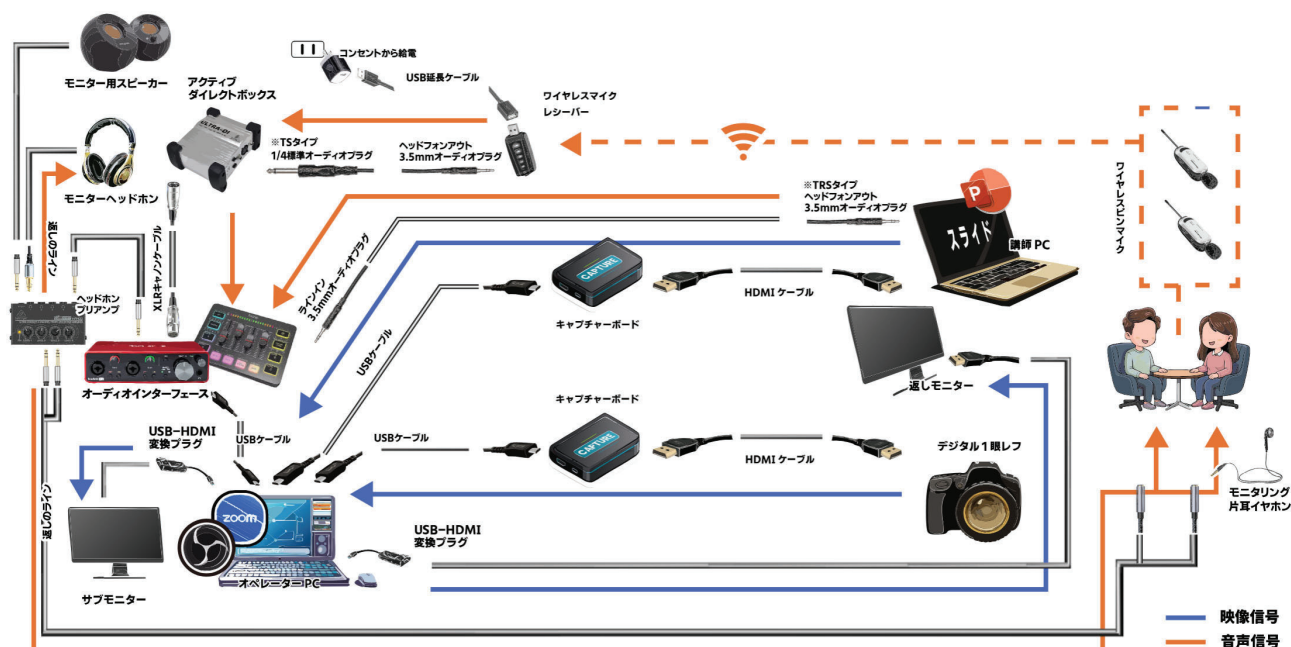
音声の設定

- 01 VBCableのインストール
- 02. OBS側のオーディオ設定
 - 1使用する音声デバイスとモニターする音声デバイスを設定
 - 2. 音声ミキサーからモニタリング出力を設定
 - 3.VBCableの詳細設定とサウンドチェック
- 03. ZOOM側のオーディオ設定
 - 1. マイク設定
 - 2. マイクモードの変更
- おまけ：VBCableのOutputをモニターできるようにする
- 音声のトラブルシューティング
- オーディオに関する知識

映像の設定

- 01. OBS側のビデオ設定
 - 1. 一般設定
 - 2. シーンの作成
 - 3. 仮想カメラへの出力
- 02. Zoom側のビデオ設定
 - 1 ビデオ設定を仮想カメラにする
 - 2 画面共有の設定
 - 3 色調補正のオフ
 - 4. Zoom録画の解像度について
 - 5 おまけ（スイッチャーについて）

🔊 ハードウェアの設定



上記のようにして、オペレーター用パソコンに各機器をつなぎます。
この配線図は[こちら](#)からダウンロードできます。(PDF)

🔊 音声の設定

01. VB Cableのインストール

The screenshot shows the VB-Audio Software website. The main navigation bar includes links for Home, Audio Apps, Audio Pro, Support, Licensing, and WebShop. Below the navigation bar, there are tabs for V.A.C., Voicemeeter, Banana, Potato, M.B., VBAN, Matrix, and Coconut. The main content area features a 'Playback' section with a list of devices: CABLE Input (VB-Audio Virtual Cable, Ready), Speakers (High Definition Audio Device, Ready), and Microphone (High Definition Audio Device, Ready). A blue arrow points from the 'CABLE Input' device to the 'Recording' section, which also lists the same three devices. To the right of the device lists, there is a section titled 'VB-CABLE Virtual Audio Device.' with a description: 'VB-CABLE is a virtual audio device working as virtual audio cable. All audio coming in the CABLE input is simply forwarded to the CABLE output.' Below this, there is a 'Download and Install VB-CABLE Driver Now' button. A large blue arrow points from this button to a download section. The download section has two orange buttons: 'Download' for Windows and 'Download' for macOS. The Windows section lists two packages: 'New Package: VBCABLE_Driver_Pack4.' (1.29 MB - OCT 2024 / XP to WIN11 32/64 bits/Arm64) and 'Old package: VBCABLE_Driver_Pack43.zip' (1.09 MB - OCT 2015 / XP to WIN11 32/64 bits). The macOS section lists 'VBCable_MACDriver_Pack108.zip' (4.4 MB - MAY 2021 - Intel/M1). Below the download buttons, there is an 'INSTALLATION' section with instructions: 'Extract all files and Run Setup Program in administrator mode. Reboot after installation / Reboot after uninstallation.' At the bottom, there is a note: 'VB-CABLE is a Donationware! All participations are welcome. Get your'.

最初にVB-CABLE Virtual Audio Device 📁 をインストールします。
これはOBS内の音を外部に出力するために必要です。

🌀 02.OBS側のオーディオ設定

1. 使用する音声デバイスとモニターする音声デバイスを設定

OBSの画面で、メニューバー「ファイル」から設定をクリックします。

音声 > グローバル音声デバイス

デスクトップ音声
マイク音声
それぞれ入力に使いたいものを選択します

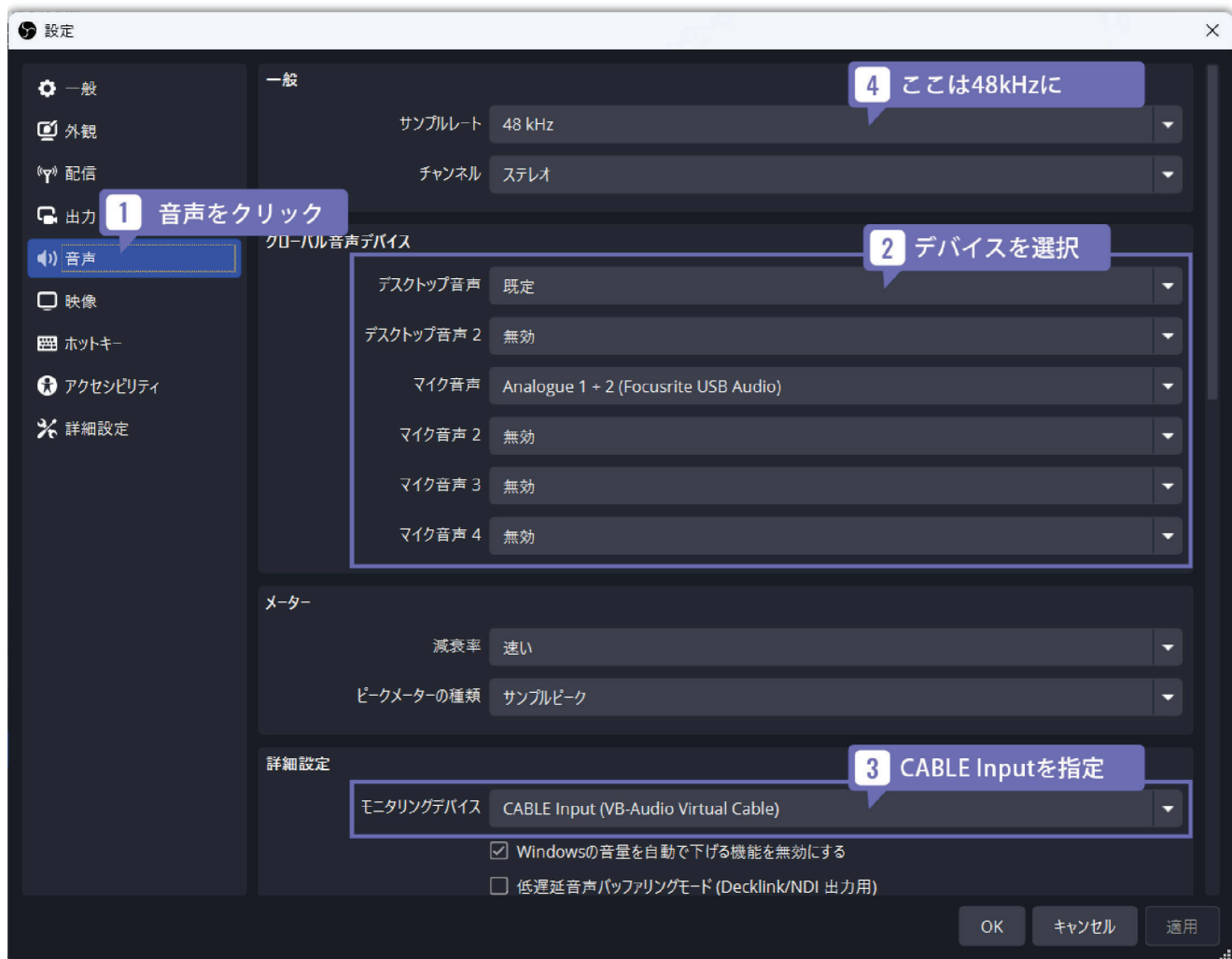
- ここで設定をした音声はすべてのシーンで共通で有効になります。個別のシーンごとに音声を切り替えたい場合は、該当のシーン内で、「音声入力キャプチャ」を使ってください。

音声 > 詳細設定

モニタリングデバイス

CABLE Input (VB-Audio Virtual Cable)を選択します

- OBS配信時に音をモニターするためのデバイス（ヘッドフォン）などを設定します。また外部アプリにはこのモニター音を出力することになります。
- 今回は仮想ケーブルである CABLE Input (VB-Audio Virtual Cable)を選択します。これをZoom音声を転送します。

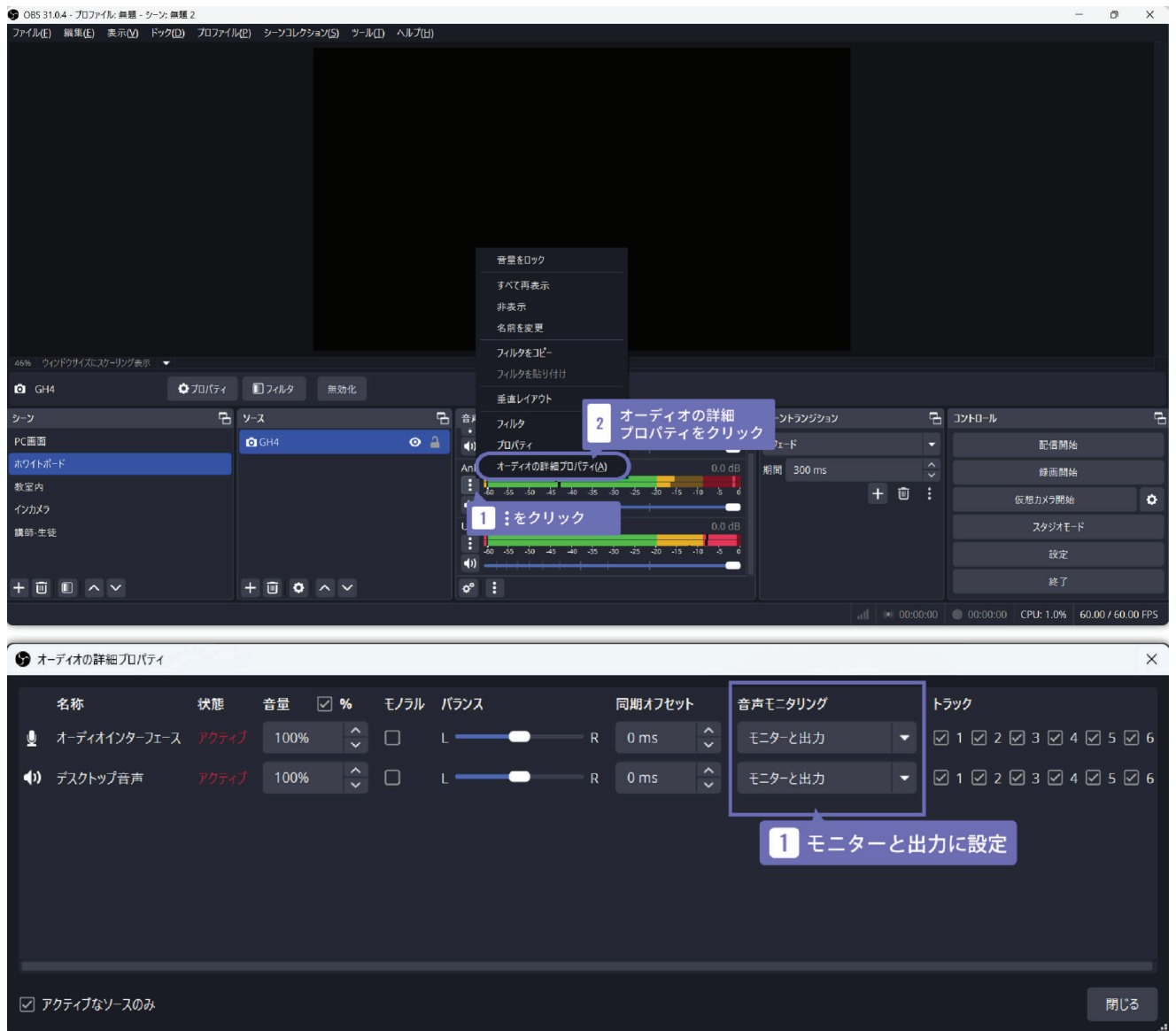


2. 音声ミキサーからモニタリング出力を設定

音声フェーダー（デスクトップ音声やマイクなどのフェーダー）横にある3点マークをクリックし、「オーディオの詳細プロパティ」を選択します。

「音声モニタリング」の項目のドロップダウンから「モニターと出力」を選択します。

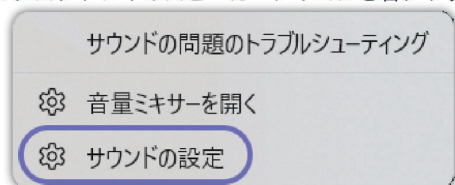
- モニターのみにしてしまうと、自分がOBSからの音を聞く（モニターする）ことはできても、外部機器にデータを送れなくなってしまいます。



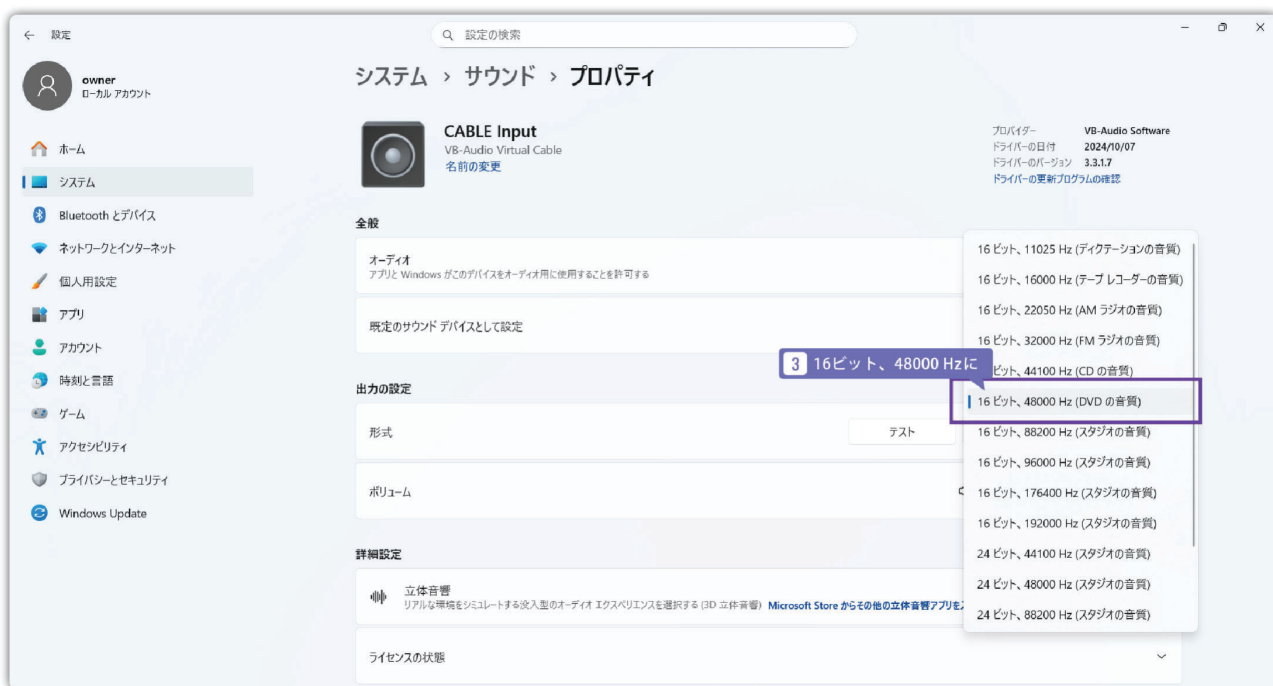
3. VBCableの詳細設定とサウンドチェック

VBCableから音声を受け取れるようになっているか、チェックします。

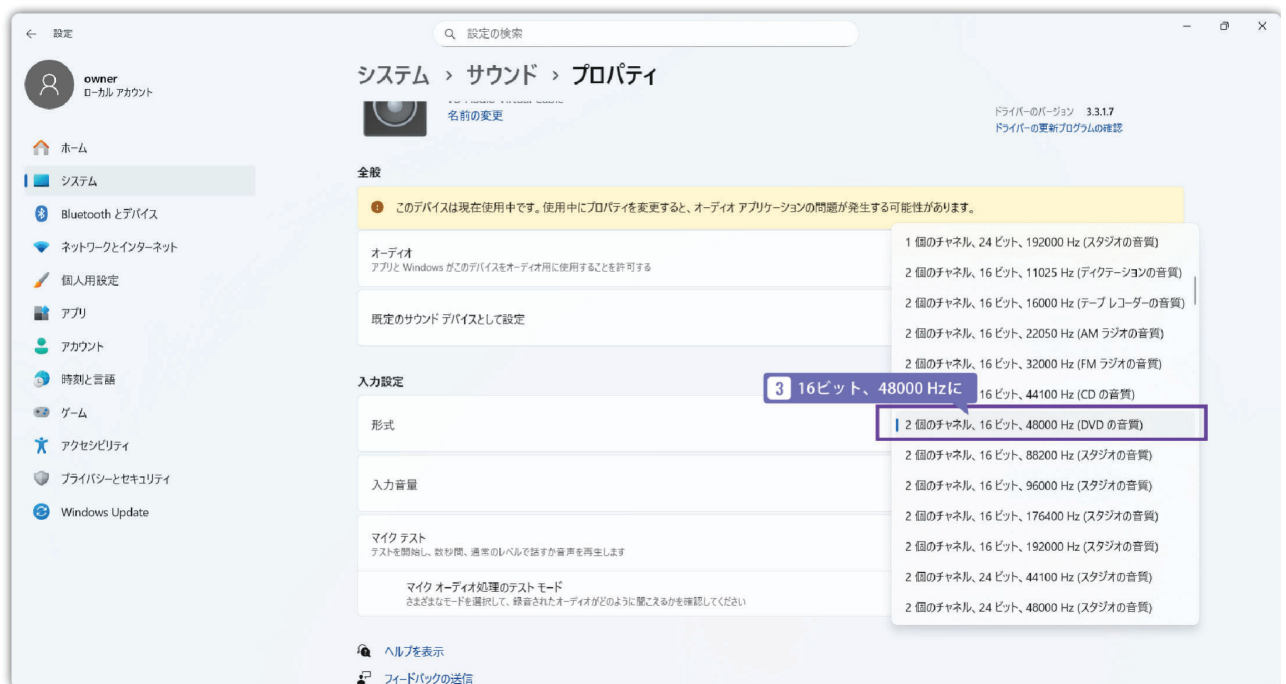
1. タスクトレイのスピーカーアイコンを右クリックして、「**サウンドの設定**」を開きます。



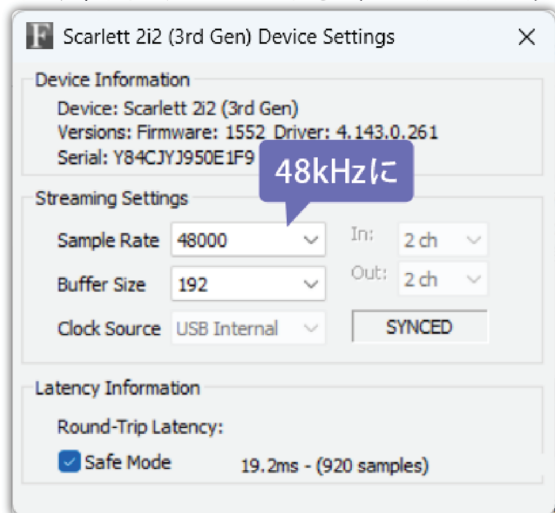
2. スピーカーの設定からVBCableの**出力設定**の項目を開きます。サンプリングレートを**16bit 48kHz**に合わせます。既定のデバイスはオーディオインターフェースにあわせておきます。(オペレーターはオーディオインターフェースのヘッドフォンアウトから音をチェックします。)



3. スピーカーの設定からVBCableの**入力設定**の項目を開きます。サンプリングレートを**16bit 48kHz**に合わせます。既定のデバイスはオーディオインターフェイスにあわせておきます。

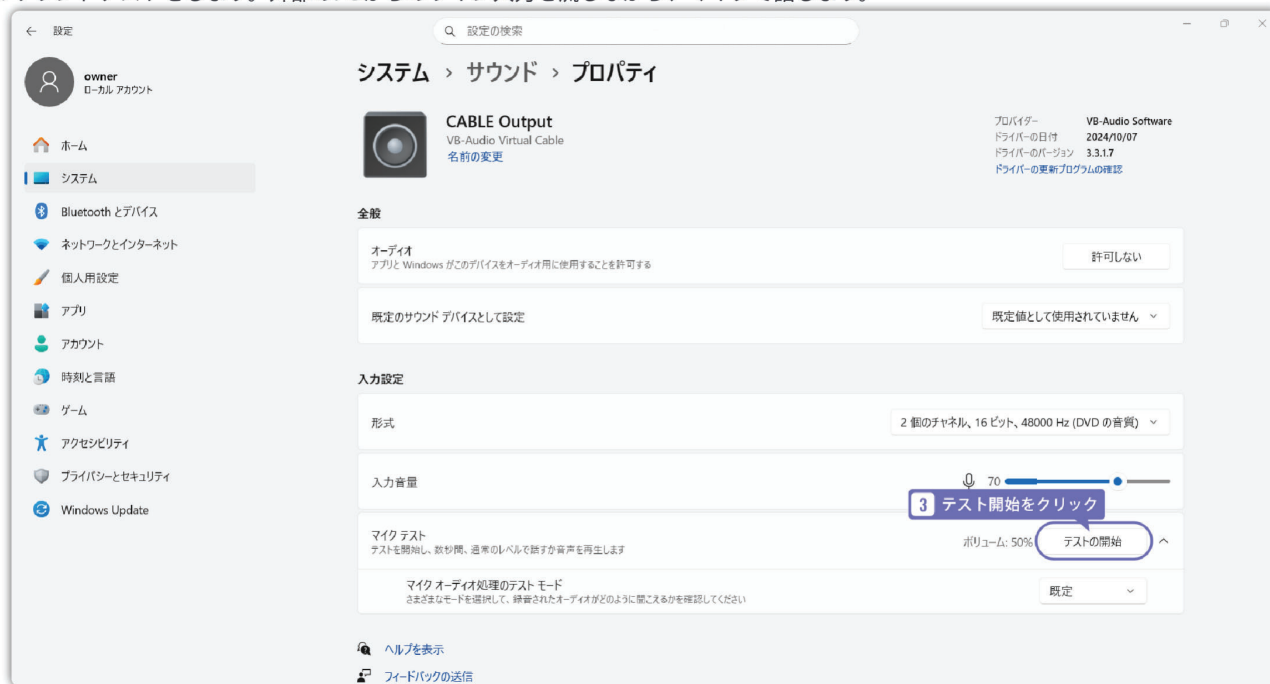


4. オーディオインターフェースにもファームウェアのセッティングソフトがあれば、設定を48kHzに合わせます。



ここまでの設定でサンプルレートをすべての入出力で合わせることで、VBCableが正しく音声をZoomに伝えるようになります。

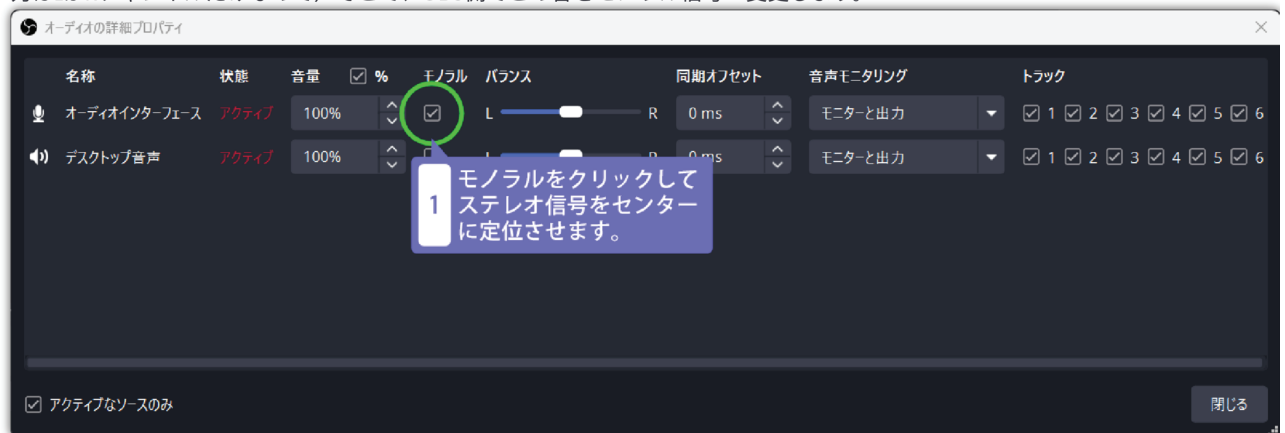
5. サウンドテストをします。外部のPCからのライン入力を流しながら、マイクで話します。



再生してオーディオインターフェースのヘッドフォンモニターからチェックします



6. インターフェースから拾ったマイク音は片耳しか聞こえない可能性があります。(一般的なオーディオインターフェースのマイク入力にはLかRチャンネルだけなので) そこで、OBS側でこの音をモノラル信号へ変更します。

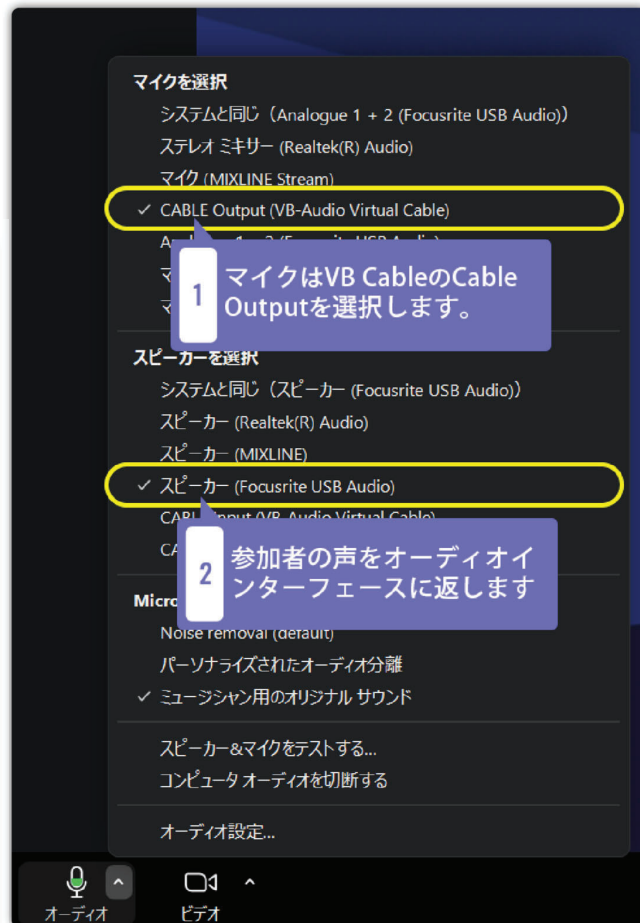
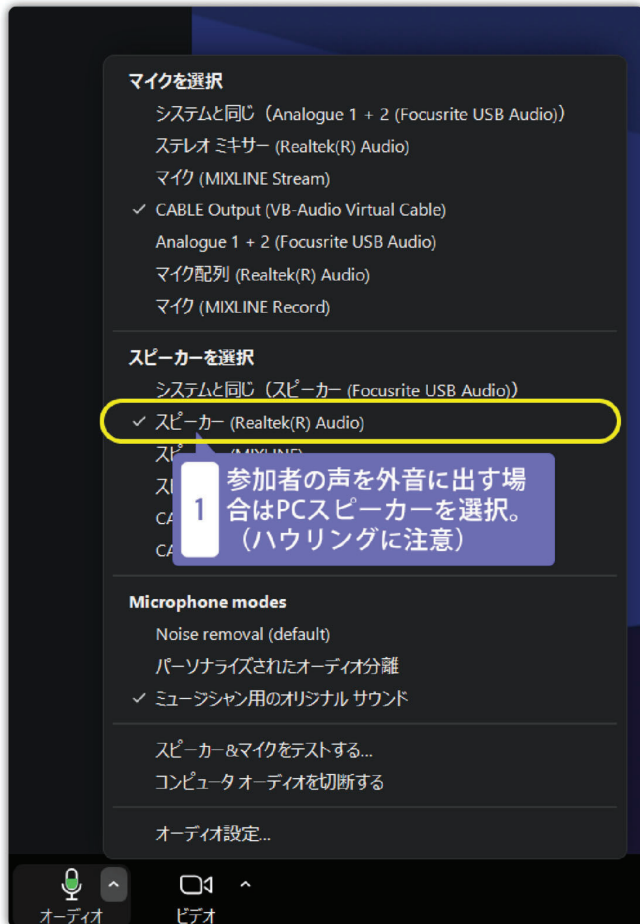


7. チェックが終わったら、もう一度マイクテストを行ってください。おそらく今度はVBCableで両耳から声が聞こえるようになったはずです。ここで聞こえる音がZoomへ送られる音量バランスです。バランスを整えておきましょう。

1. マイク設定

オーディオのマイクの設定を**CABLE INPUT (VB-Audio Virtual Cable)**に変更します。

スピーカーの設定は オーディオインターフェースを指定します。
 こうしておくことでOBSでのミックスのモニターがそのままZoomに入るようになり、かつ、返しのモニターはすべてのオーディオインターフェースから出すことができるようになります。



※ただし、参加者の声を独立して外音に出す場合はPCの標準スピーカー（もしくはPCに接続したスピーカー）を選択します。これで参加者の返答が会場内で外音として聞き取れるようになります。

（ハウリングに注意してスピーカーの音がマイクに向かないようにします。）

2. マイクモードの変更

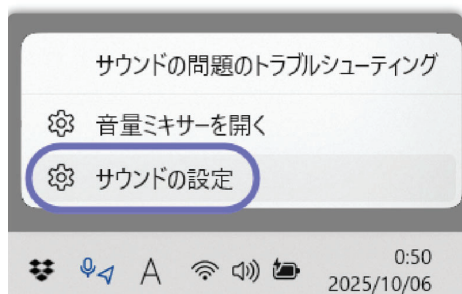
Zoomは発言者の声になるべく聴きとりやすくするために、ノイズリダクション機能が最初からONになっており、これによりBGMが小さいと全く聞こえなくなります。BGMもしっかりミックスされて配信されるように、マイクモードの設定をミュージシャン用オリジナルサウンドに変えます。



おまけ：VBCableのOutputをモニターできるようにする

オーディオインターフェースがない場合、配信中の音声をモニターできないので、以下の画像のように、OBSの出力先である**CABLE Output (VB-Audio Virtual Cable)**をWindowsサウンドコントロールパネルから「このデバイスを聴く」設定に変えます。

1. タスクバー右下のスピーカーマークを右クリックして「サウンドの設定」をクリックします

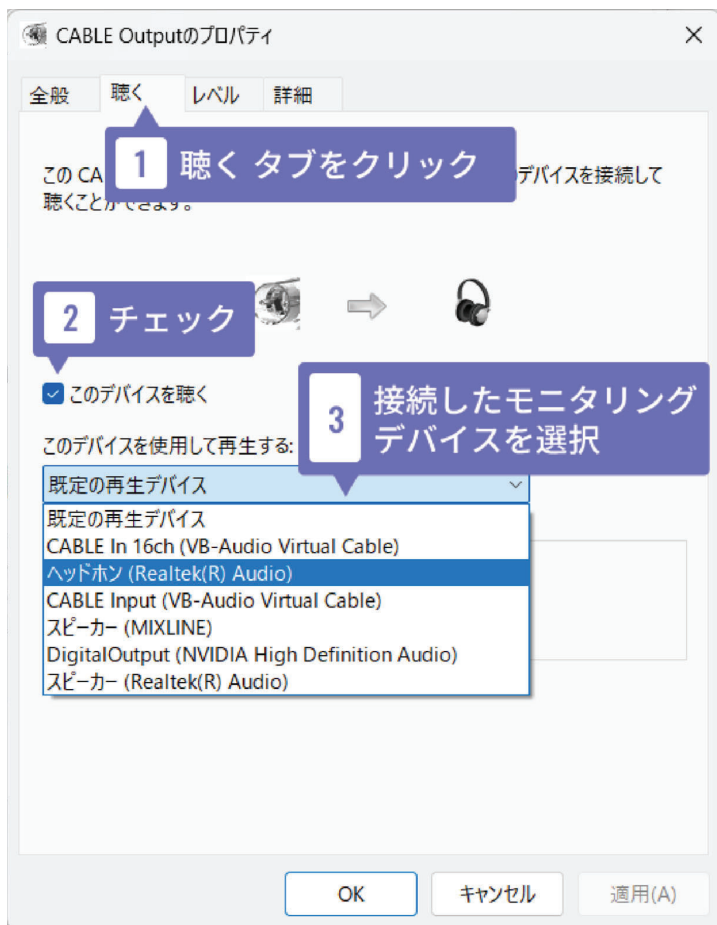


2. システムの詳細設定から「サウンド」（Windowsサウンドコントロールパネル）＞録音タブ＞CABLE Outputを選択＞プロパティをクリックします。



3. CABLE Outputのプロパティより、「聴く」タブを開き、

- ☒ このデバイスを聞くにチェック
- このデバイスを使用して再生する: の項目から接続したモニタリングデバイスを選択します。



OKを押して完了です。

これで、視聴者に届く音声をモニタリングすることができます。

🔧 音声のトラブルシューティング

音声にプチノイズが載る場合は、OBSの入力時のビットレートを確認します。デフォルトのビットレートは160ですが、192に変更してみましょう。

以下のようにして、設定画面から、**出力・音声ビットレート** を変更します。



※オーディオに関しては、この設定では若干のレイテンシ（遅延）が発生します。低遅延のリアルタイムモニタリングを実現するには、オーディオインターフェイスを使用し、ASIOドライバを用いてレイテンシを最小にします。

オーディオに関する知識

インピーダンスとは/DIの使い方/バランスケーブルとアンバランスケーブル/ステレオミックス時の逆位相によるセンターキャンセル etc..

以下のリンクにオーディオに関する知識をまとめました。

[オーディオに関する知識](#)

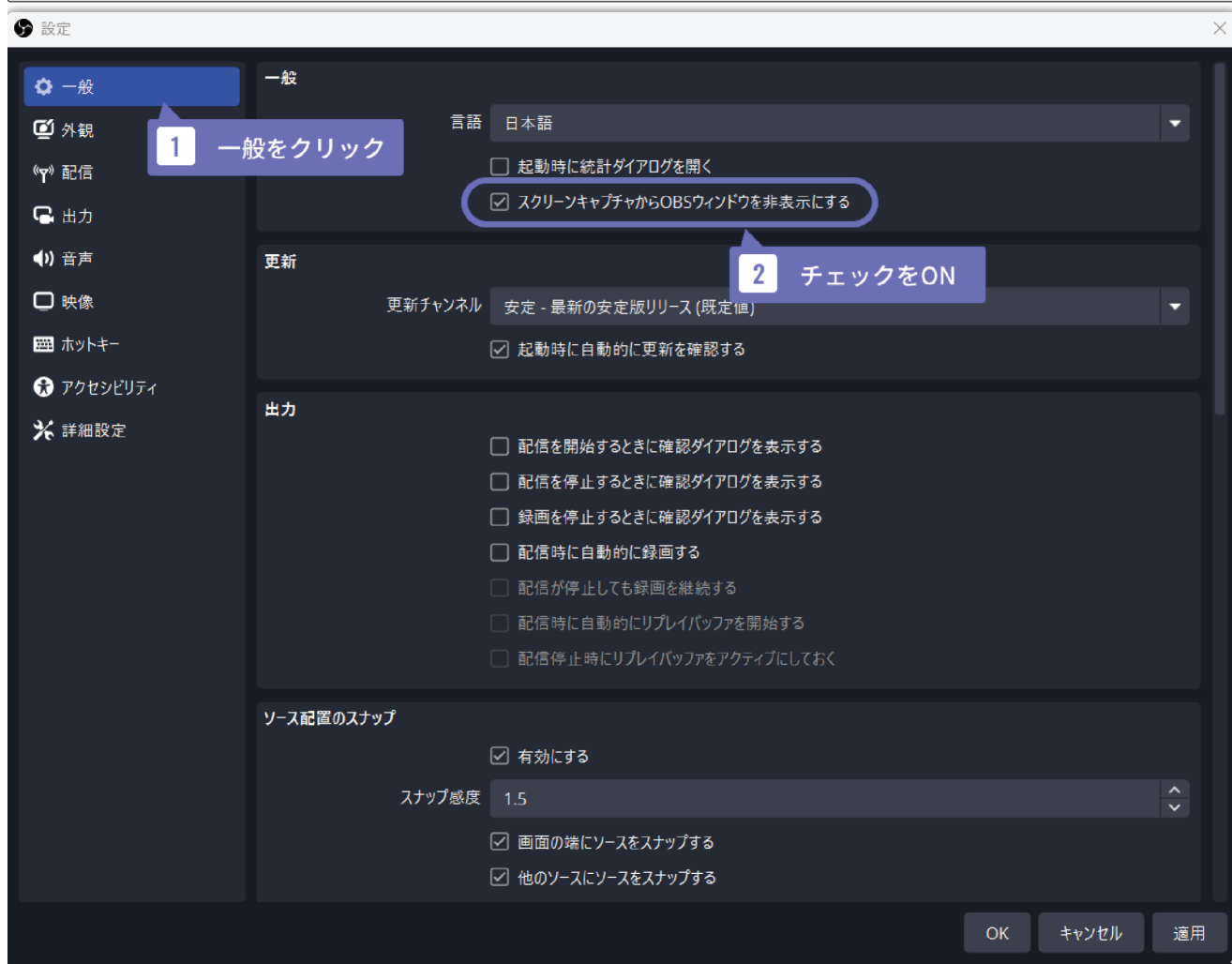
映像の設定

カメラや外部パソコンの映像は基本的にそのままHDMIケーブルを繋いただけでは移りません。キャプチャーボードを介して取り込みます。

01.OBS側のビデオ設定

1. 一般設定

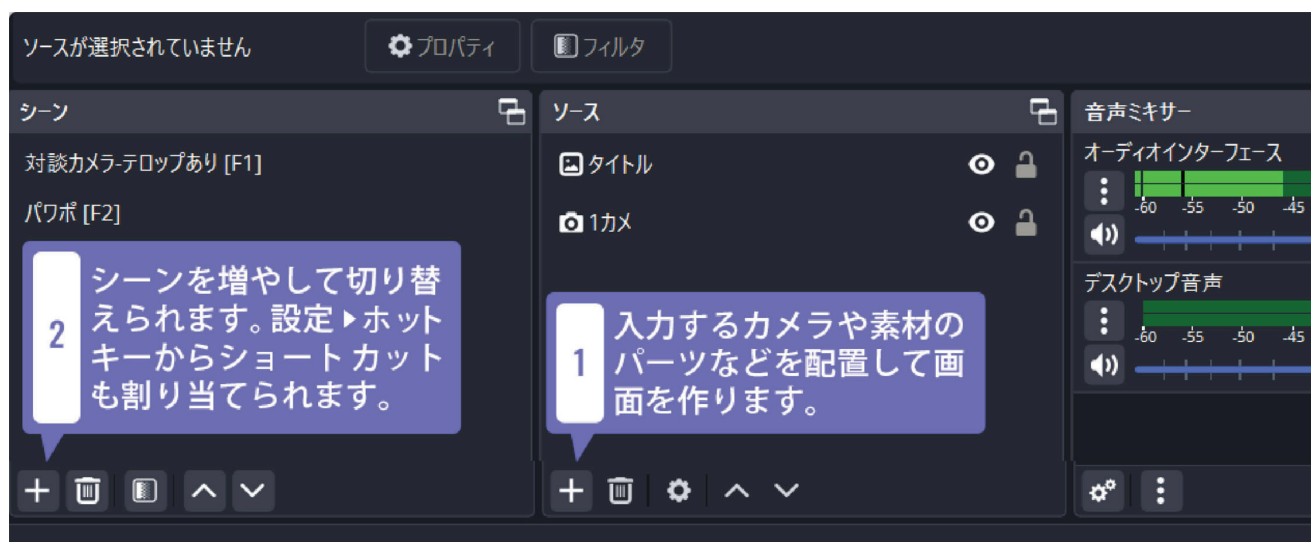
スクリーンキャプチャからOBSウィンドウを非表示にするにチェックを入れます。



- これをすることで、デスクトップ画面を共有した際、合わせ鏡のように画面が無限ループしてしまう状態を回避できます。
(その代わりに、OBS画面のスクリーンショットも撮れなくなってしまいます。スクリーンショットをする際は外してください。)

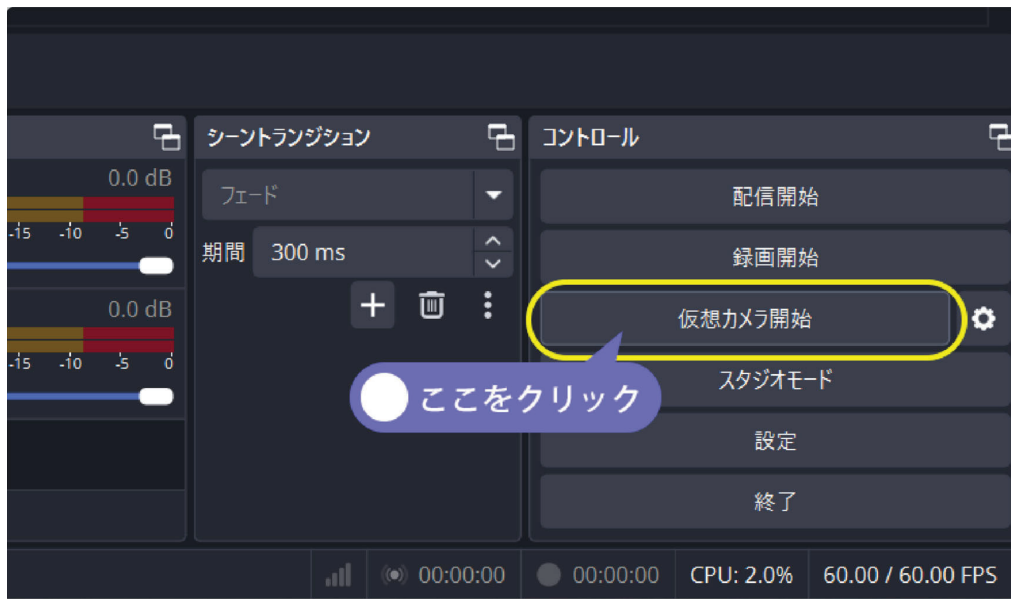
2. シーンの作成

映像信号をパソコンにつないだら、ソースから映像キャプチャーデバイスを選択します。目的の映像を表示します。シーンを分けて複数の映像シーンを作ることができます。またソースの+ボタンから映像以外のパーツを入れることも簡単にできます。



3. 仮想カメラへの出力

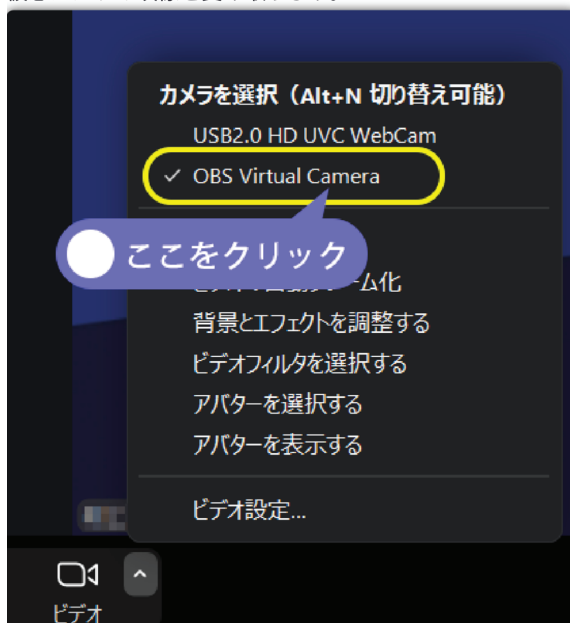
これらの設定が整ったら、仮想カメラへの出力をします。この信号をZoomで拾うことができますようになります。



01.Zoom側のビデオ設定

1. ビデオ設定を仮想カメラにする

仮想カメラの映像を受け取ります。



2. 画面共有の設定

通常Zoomの画面共有では、デスクトップ全体や特定のウィンドウの映像を共有するため、参加者はその共有された画面を大きく表示して視聴することになります。

今回はデスクトップ自体ではなく、「**OBSからの映像を共有したい**」上に、参加者に「**一画面での視聴を強制したい**」ため、Zoomの「**第2カメラのコンテンツを共有**」という機能を使用します。

※ 第2カメラ共有とは、画面共有にカメラの映像を使うことができる機能です。通常は講師の顔とは別に手元カメラなどを画面共有として表示させる機能ですが、ここにOBSからの仮想カメラ映像を割り当てることで、OBSの映像を共有画面として提示できます。

画面共有の詳細タブから設定します。なお今回はオペレーターパソコン自身のデスクトップからは基本的に音を出さないで、サウンドの共有はオフにします。

共有するウィンドウまたはアプリケーションの選択

画面 ドキュメント **詳細**

1 ここをクリック

詳細

- iPhone/iPad (AirPlay 使用)
- PowerPointを背景に使用
- 画面の一部
- コンピューターオーディオ
- ビデオファイル
- クリップ
- 第2カメラ**

2 ここをクリック

3 オペレーターパソコンのデスクトップからの音も送る時のみON

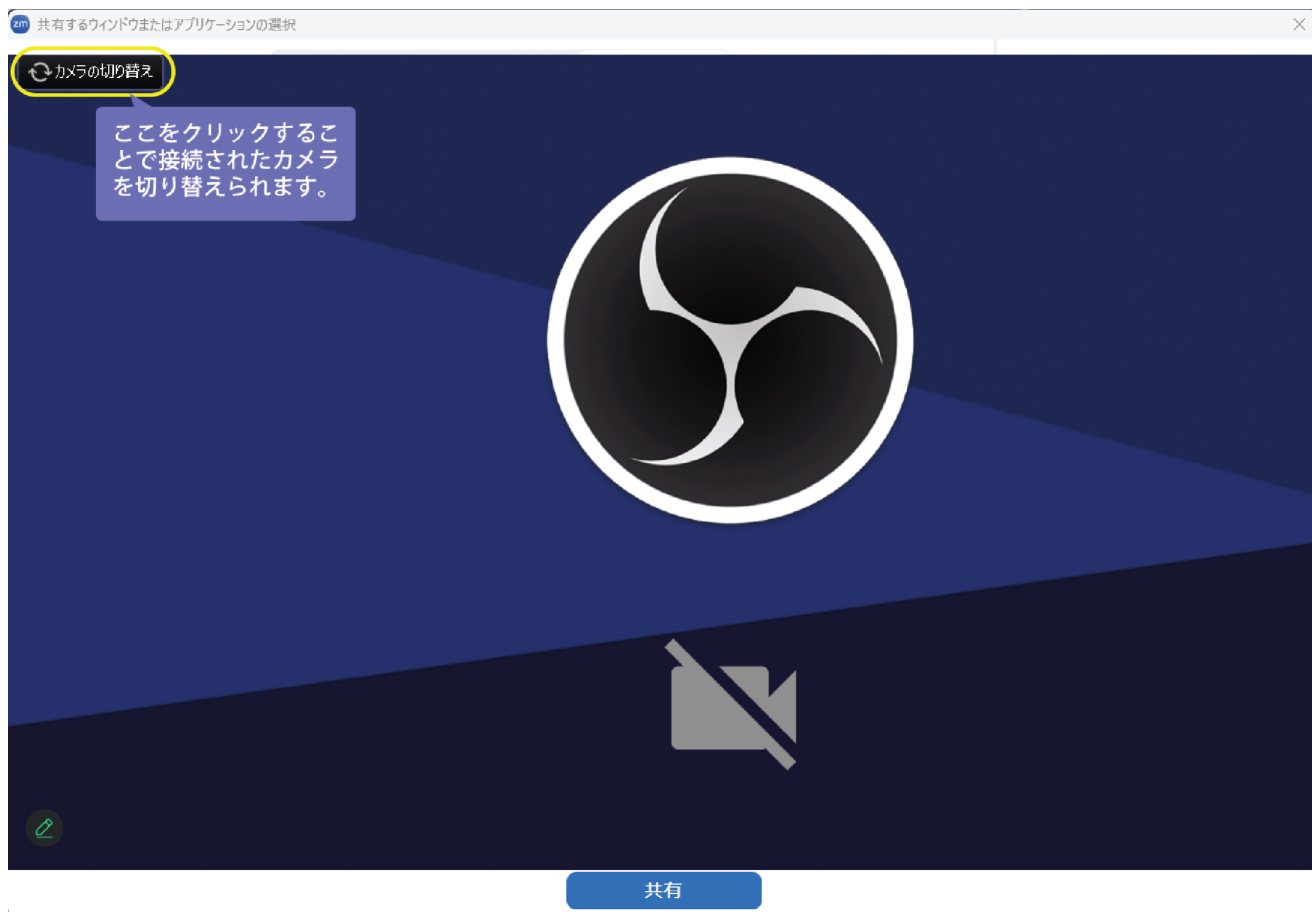
共有オプション

- ☒ サウンドを共有
- ☐ ビデオ共有に向けて最適化する
- ☐ Zoomのウィンドウを共有する

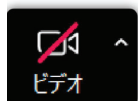
プレゼンターのレイアウト

- コンテンツのみ
- 背景として
- 肩越し
- 左右表示

共有



また、Zoomのデフォルトのカメラは基本的にOFFにしておきます。これはパワーポイントなどの操作時に小窓で登壇者の顔が映ってしまうことを防ぐためです。

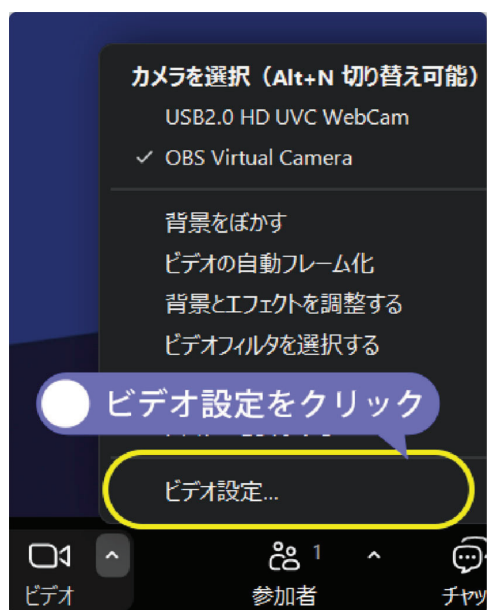


これで配信時には常にOBS画面からの映像を大きな一画面での視聴に固定して配信することができます。

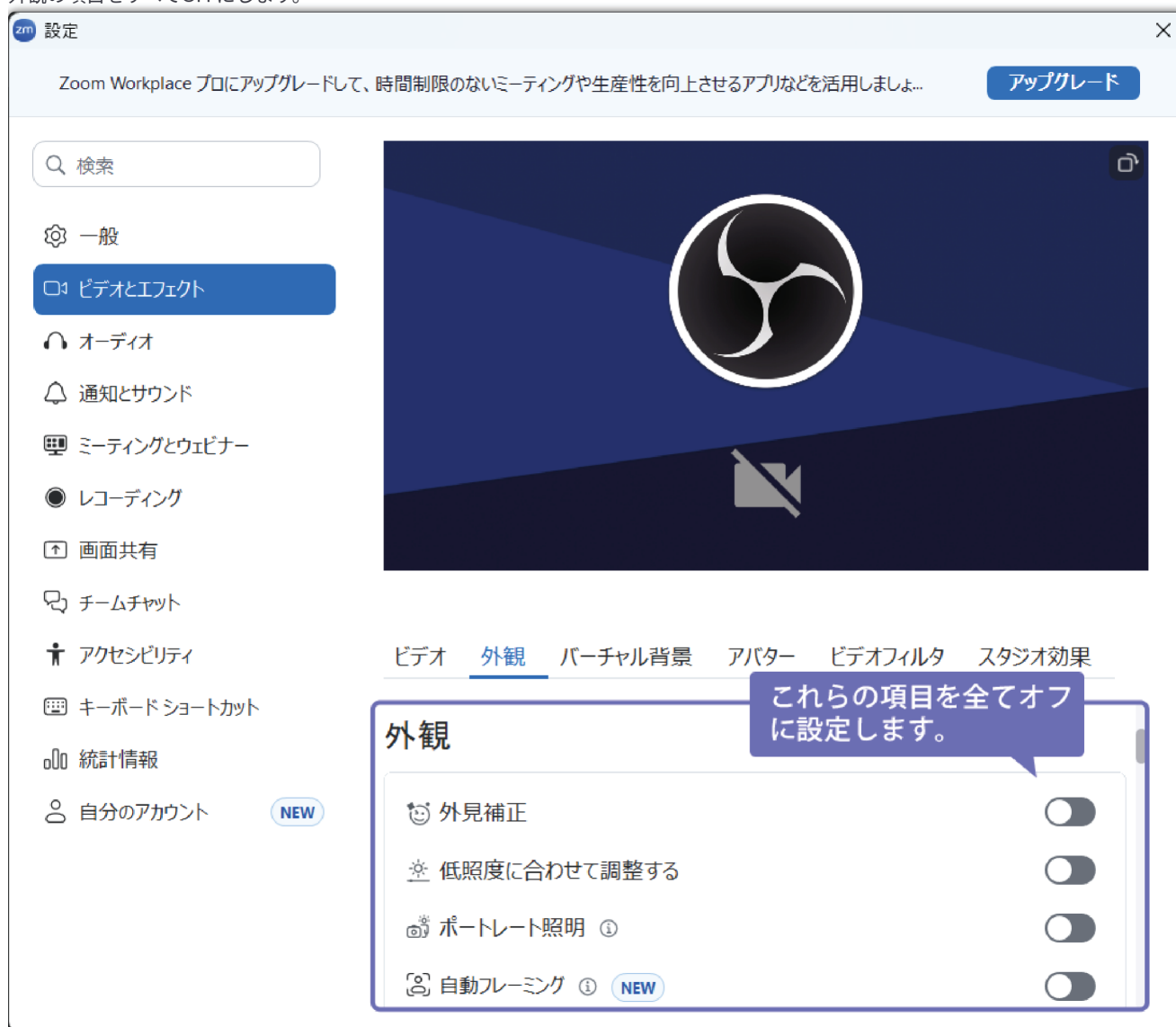
3. 色調補正のオフ

Zoomが勝手にビデオの外観を補正するのを防ぎます。こうすることで不要な白飛びやボケがなくなります。

ビデオ設定をクリックします。



外観の項目をすべてOFFにします。



これで、OBSの映像をほとんど無加工の状態で純粋にZOOMに転送できます。

4. Zoom録画の解像度について

Zoomの録画は録画したパソコンの画面解像度に依存します。また設定でHDのチェックを入れ、かつアカウント管理画面で適切な設定がされていないと、1920×1080のフルHDサイズにはなりません。

以下の条件を満たすことで、1080pの画質で録画できます。

 ZoomでフルHD録画できる条件一覧表

項目	必要条件	補足 / 注意点
Zoomアカウント種別	有料プラン（Pro / Business / Enterprise）	無料アカウントでは基本的に720pまで
1080p有効化設定	グループHD（1080p）を有効化	Zoom管理画面で設定可能 表示されない場合はZoomサポートへ申請が必要
Zoomクライアント設定	PCアプリ → 設定 → ビデオ → HDにチェック	これを入れても720p止まりなので、上のグループHDが必須
ネット回線（上り速度）	6～8 Mbps 以上 安定	帯域が不足すると自動的に720pに落ちる
CPU / GPU負荷	CPU 40%以下推奨	Zoomは負荷が高いと解像度を下げる
カメラ（Webカメラ / カメラ機材）	1080p対応カメラ	例：Logicool C922 / Elgato Facecam / ミラーレス + キャプチャボード など
画面共有の場合（スライド / デモ画面）	PCのディスプレイ解像度が1920×1080以上	画面共有の解像度は画面そのものの解像度に依存
クラウド録画	配信時に1080pが有効であること	配信解像度がそのまま録画解像度になる。 1080pで送れなければ録画も1080pにならない
ローカル録画	ローカル録画は1080pが出やすい	PC性能が十分ならクラウド録画より1080p成功率が高い

5. おまけ（スイッチャーについて）

Zoomの画面を表示しながら、手元で瞬時にOBSのシーンを切り替えるための機材もあります。

以下のようなスイッチャーを使うと実現できます。



<https://amzn.asia/d/9tUATcs>

ANTLOD ストリーム コントローラー 15個のカスタムLCDボタン stream コントローラー ライブ配信 & コンテンツ制作用一体型コントローラー OBS/Twitch/YouTubeのライブ配信支援機器 PC/,Mac対応 日本語説明書付き (ブラック)

¥7,980

以上でOBSとZoomを連携させた配信設定の方法はすべてです。



Flash Melody 代表
村上 勝保

© 2025.11 KATSUYORI M
All RIGHTS RESERVED.

